

東海市立横須賀小学校		○ 教育目標 ○ めざす学校づくり ○ 地域の特徴		・明 る く ：よく考え、自ら学び、明るく行動する子ども ・たくましく ：命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる子ども ・心 豊 か に：豊かな心をもち、互いに高め合う子ども ・児童が元気に楽しく学校生活を送ることができる学校をつくる。具体的には、児童会活動の充実を図り、横小コンサートを中心に歌声の響く学校と、一人一鉢活動やPTA、学校支援ボランティアと連携した花いっぱいの学校を目指して取り組んでいく。 ・古い町並みも残り、学校に協力的な地区である。共働きの家庭が多い割には地域行事やPTA活動などによく参加できている。PTA地区委員は、地域コミュニティの役員や委員としても参加し、連携をとりながら運営されている。			資料等
中期目標	今年度の目標	評価方法 (アンケート項目)	結果の分析	課題と対応策	学校関係者評価 【実施日】令和7年1月22日	来年度の改善策 (誰が何をどうする)	
知	個に応じた支援と基礎基本の徹底に向けた学習活動の実践と工夫	○分かる授業・楽しい授業の実践 ・基礎的な知識・技能の着実な習得（横っ子テスト、ドリル学習） ・タブレット等ICT機器の効果的な活用 ・授業規律の確立（姿勢、聞く態度、ノートの取り方） ・読書活動の推進 ・主体的な対話的な深い学びの実践	児童 設問02授業は楽しく、分かりやすい。設問03授業や家庭学習など、進んで学習に取り組んでいる。 教師 設問05子どもたちにとって、楽しく分かりやすい授業になるよう努めている。 設問04読む・書く・計算するなど、基礎的・基本的なことがらをしっかりおさえた指導に努めている。 保護者 設問06授業において、読む・書く・計算するなど、基礎的・基本的なことがらをしっかりおさえた指導がなされていると思う。 設問07私は、子どもたちが、授業は分かりやすく楽しいと感じている。	「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問02では76.8％で、昨年度より若干高くなっている。教師への設問05では100％で、昨年度より高い評価となった。 基礎的・基本的なことがらをしっかりおさえた指導については、教師への設問04では100％、保護者への設問06でも82.8％と、高い評価となった。 児童への設問02、03では「全くあてはまらない」と回答した割合は、5.7％・6.6％と昨年度と数値が増加した。	授業、学習活動に関して、児童と教師の評価に大きな差があることや、「まったくあてはまらない」と回答した児童の増加については真摯に受け止め、個々の学習状況を把握しつつ、家庭との連携を一層深めていく。教師は、授業力向上に努めているので、ICT機器やタブレット端末をより効果的に活用するなど楽しく、分かりやすい授業が展開できるように研究を進め、児童の主体的な学習を実現していく。	教師と児童の評価の差は、学年が上がるほど差が大きいても想像できる。そんな中で、楽しくわかりやすい授業になるよう日々努めてくださることに頭が下がる。頼もしい。 教師の「ややあてはまる」が多いのが気になる、全員が、「よくあてはまる」であってほしい。 宿題が減っていて、自ら勉強をする児童が少なくなっている。	教務主任、現職教育主任を中心に校内研修を企画し、教員の資質向上を目指す。 教師が、分かるできる嬉しさと分かりやすい授業を実践する。そのために、ICTを活用し「個別最適な学び」と「協同的な学び」が一体化した授業改善を進める。
徳	心豊かで互いに学び合う子どもの育成、および保護者の理解と協力の信頼を得るための家庭との連携強化	○豊かな心や思いやりの心の育成 ・相手を見て、明るく、元気づく挨拶をする ・掃除、はきものそろえ ・一人一鉢運動 ・思いやりの心を育てる学校学年行事、ペア活動 ・横小コンサート	＜基本的生活習慣に関するアンケート＞ 児童 設問06先生や友達、地域の人などに自分から進んであいさつをしている。 教師 設問06日頃から「あいさつ・返事・時間を守る」など、基本的生活習慣の定着に向けた指導に努めている。 保護者 設問09学校が日々の生活を通して「あいさつ・返事」など基本的生活習慣の定着に取り組んでいると思う。 地域住民 設問02横須賀小学校の子どもたちは、しっかりあいさつをすることができていると思う。 ＜特色ある学校行事に関するアンケート＞ 児童 設問08横小コンサートをはじめとして、みんなで合唱曲を歌うことを楽しみにしている。 設問09一人一鉢活動をはじめとして、花を育てることを楽しみにしている。 教師 設問02校訓を踏まえ、「花と歌」をテーマに横小コンサートや一人一鉢など特色のある教育活動に力を入れている。 保護者 設問02学校が「花と歌」を言葉に「横小コンサート」や「一人一鉢運動」など、特色のある教育活動を進めているのは、よいことだと思う。 地域住民 設問10横須賀小学校が「合唱」や「花を育てること」に力を入れて活動していることは、とてもよいことだと思う。	＜基本的生活習慣に関するアンケート＞ 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童77.9％・教師97.3％・保護者75.7％と昨年度より高い評価となり、地域住民は68.6％と昨年度とほぼ同じ評価となっている。ただし、教師を含めた4者の回答を比較すると教師の評価と、3者の評価には大きな差があり、挨拶の指導が、学校外では十分に表れていないとの結果となった。 ＜特色ある学校行事に関するアンケート＞ 「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童への設問08は、76.1％と少し評価が下がり、教師78.3％・保護者92、7％で昨年度とほぼ同じ評価となった。地域住民の評価は、92％と高い評価であった。また、児童・教員の評価は80％以下で、保護者・地域住民は90％以上と評価に差が見られた。	児童の挨拶運動など主体的な活動を実施し、児童一人一人が学校内外を問わず、いつでも元気な挨拶ができるように取り組む。また、「挨拶」「人の話をよく聞く」など、基本的生活習慣の定着に向けて、家庭・地域とも協力しながら根気強く指導する。 本年度も横小コンサートが2日間で体育館と東海市芸術劇場で行われた。保護者や地域住民の方からの高い関心はあるが、昨今の社会情勢において、今後のコンサートは、練習方法も含め、新しい形で活動ができるように検討していく。	挨拶は、地域によって差がある。登校中に挨拶をしても2割ぐらいしか返ってこない。反対にとても元気のよい挨拶ができています。保護者も挨拶をする姿を我が子に見せていきたい。 横小コンサートは、すばらしい歌声を聞くことができて嬉しい。継続をお願いしたい。練習や劇術劇場への移動など、学校の負担もよくわかる。 一人一鉢運動の花は、1年で終わる花ではなく、毎年咲く花にしてもよいのではないだろうか。	児童会担当を中心に、挨拶運動等、児童の主体的な活動を継続し、元気づく挨拶ができる児童を目指す。また、教職員は児童のよき手本となるように率先垂範に心がけ、根気よく指導する。 生徒指導部を中心にして、「挨拶」「人の話をよく聞く」など基本的生活習慣を定着させる。 横小コンサートは、体育館での1日のみ開催とし、保護者・地域の方にも参観できるように形を変えて行う。
体	細やかな配慮と児童理解により、安全で心身ともに健康に生活できる充実した学校づくり	○強固な心身の育成 ・規則正しい生活習慣の確立（早寝、早起き、朝ご飯） ・命の大切さを知り、自らの安全を守る意識の向上（道徳、体験活動、KYT登校、教育相談） ・なわとび集会等の取組	児童 設問07放課には、自分も友達もけがをしないように安全に気をつけて遊んでいる。 設問10「早寝・早起き・朝ご飯」など、規則正しい生活をしている。 教師 設問09子どもたちの健康や安全に配慮し、適切な対応をとっている。 保護者 設問13学校は子どもたちの健康や安全に配慮し、適切な対応をとっていると思う。 地域住民 設問05横須賀小学校では、交通安全・防災など安心・安全に配慮した取り組みを行っていると思う。	「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、児童87.7％・保護者85.3％と昨年度とほぼ変わらなかった。教師97.3％・地域住民80％で高い評価であり、4者とも80％を超える結果であった。	児童の健康・安全に対する意識はあるものの、体調不良を訴える児童、学校生活だけがをして保健室を利用する児童は数多くいる。落ち着いた日常生活の維持・運動の促進など、学校全体で健康・安全に関する活動に取り組み、健康の増進や、けがや事故を回避する力を育てていく。今後も家庭と協力して規則正しい生活に心がけ、基本的生活習慣を整えていく。 心の不安定を抱える児童が増えている。初期発見と対応を職員がチームを組んで取り組む必要がある。	健康安全に対する意識が高いことがすばらしい。最近地震が多いので、訓練が役に立つのはよい。 自転車の並走を見かける。 命にかかわること後遺症が残るような重大事故は避けたいが、小さいけがは子供時代はよくある。学校ではいつも適切に対応してくださり安心している。 相談や悩み事に対して、児童・保護者と教師の評価の差がある。教師は寄り添っていても、そのことだけに多くの時間がさけないのではないだろうか。児童と保護者の受け止め方の差になったように思う。	養護教諭を中心に、さわやか点検を継続し、児童の生活習慣を把握し、保護者と連携して課題改善に努める。 体育主任を中心に、縄跳び集会等体力向上に向けた活動を充実させる。 校務主任や交通安全担当者が中心に登校時の安全意識を高めるためにKYT登校の実施を継続する。 生徒指導主事・保健指導主が中心に、児童が学校に居場所をもち自分と相手を大切にできる活動を進める。SSW・SCなど外部機関との連携も強化する。
地域連携	家庭・地域との連携と協力のもとに、地域の将来を担う健やかな子どもたちの育成を目指した学校づくり	○地域の教育力の活用 ・祭や盆踊り、コミュニティスポーツ大会等地域行事への積極的参加と共催 ・校区探検、山車蔵見学など地域素材の積極的活用 ・さまざまな分野における、学校支援ボランティアの積極的な活用	保護者 設問04学校が学校だよりやブログなどで学校の様子を家庭や地域へ分かりやすく伝えていると思う。 設問15学校公開や学校行事などに積極的に参加していると思う。 地域住民 設問09横須賀小学校は、学校だよりやホームページ・ブログを通じて、学校の様子をよく分かるように伝えていると思う。 設問07横須賀小学校は地域の活動や行事によく協力している学校であると思う。 設問08私たち地域の住民は、横須賀小学校に対して協力できることがもっとあると思う。	「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合は、昨年度と比較すると設問04で保護者82.5％で少し低い評価で、地域住民では72％で高い評価となった。 保護者への設問15では92％と昨年度より高い評価となった。 地域住民への設問08では60％と低い評価となった。昨年度に比べると「わからない」との回答は少なくなった。	ブログの更新や定期的な学校・保健だより等をメール機能を活用し、家庭・地域に児童の様子や情報を伝えている。今後さらに、保護者・地域の方々に学校へ足を運んでいただくこととともに、積極的に情報共有を図り、さらに連携を密にしていく。 多くの地域行事に児童の参加できるものも増えてきているので、地域の一員として活躍できる児童を目指し、今後も地域との関わりを深めていく。	横小ブログは、いつも楽しみにしてみている。横小だよりも学校の様子が分かりありがたい。 地域の行事に児童はもちろんPTA役員のみなさんや先生方も参加して一緒に盛り上げようとしていると感じている。 地域の行事やコミュニティ事業にご理解とご協力をいただき感謝している。参加申込状況では、心配であったが、参加の様子を見ると楽しんでいる姿を多く見ることができた。	校長・教頭を中心に、ブログ・学校だより・保健だよりなどHPやメール機能を活用し、家庭・地域に学校の児童の様子や情報を定期的に伝えていく。 教頭を中心に、学校・家庭・地域が協働して子どもたちのために活動できるよう、学校が地域に協力できること、保護者・地域に協力していただけることについて共通理解し、連携を進める。学校支援協議会のボランティア活動を活発化させ、子どもと保護者・地域のつながりを広げていく。